

回文

2021/12/15

こじままじこ (小島裕子)

師走に入ると(今年もあつという間だったなあ)と感じます。

嬉しいのは、少し日常が戻り今年の年末の街の風景は昨年とは違って賑やかさや華やかさを感じられることです。

新しい年は、世界中がコロナから解放され、以前のように国々を自由に行き来できるようになるといいですね。

今回の回文は決まったお題は無く、「あれこれ」です。

そして、ポストシリーズ、今回は「世界のポスト⑤・ルクセンブルク編」です。

「あれこれ」

みちうつかりすこしあくぼみぼくあしこすりかつうちみ

(道うつかり、少し、あ、窪み、僕足擦り且つ打ち身)

くすりのたかぎみのみぎかたのりすく (クスリの高気味の右肩のリスク)

よだんだんなまですばらしいしらばすでまなんだんだよ

(余談、旦那まで素晴らしいシラバスで学んだんだよ)

うそくさいげいしやあみててみあやしいげいさくそう

(嘘くさい芸者、あ、見ててみ、怪しい芸錯綜)

あやしげなおじさんさじをなげしゃあー

(怪しげなおジサン匙を投げ、「シャアー」)

「世界のポスト-⑤ ルクセンブルク編」



ルクセンブルク市内のポスト。ルクセンブルクも基本の色は黄色です。浮かんでいるように見えませんか？



ルクセンブルク市内の郵便局に設置してある金色の、これもポスト。知る人ぞ知る秘密のポストのような・・・



ルクセンブルク郊外のヴィアンデン城内のポスト。壁に貼り付けられたエンブレムのような。